

司法精神医療の 児童思春期症例 への応用



精神科医療が「入院から地域生活中心へ」という変革の中にあります。児童思春期医療の強化と整備にチームで取り組んでいる講師から「病院での医療実践と地域に向けての対応」を学び、それぞれの立場で実践する研修会としたい。

2022年度児童虐待防止研修会

6月26日(日)

午後2時30分～午後5時

長野市生涯学習センター

大学習室2・3

<講演>

「司法精神医療の児童思春期症例への応用」

(講師) 村杉謙次氏 (国立病院機構小諸高原病院院長)

(主催) ながの子どもを虐待から守る会

(共催) 長野県子どもを虐待から守る民間ネットワーク

(後援) 長野県

*本研修会は「人権尊重社会づくり県民支援事業」を申請中です。

*講師紹介

平成11年小諸高原病院に赴任。令和2年より現職。うつ病患者の自殺予防と復職支援、児童相談所の児童虐待対応アドバイザーとして児童相談所との連携・対応等に取り組む。専門分野は司法精神医学(*)、臨床精神薬理学。

*司法精神医療とは精神障害を有する犯罪者に対する医療です。狭義では裁判と司法に関する領域を指し、広義では法律・精神保健福祉全般に及ぶ領域を指します。

●参加者 児童虐待に関わる司法、教育、保健、医療、福祉等の専門職及び関心のある方(定員100名)

●参加費 500円(当会会員無料)

●申し込み お名前、所属、職種を明記の上、6月17日(金)までに守る会事務局あてファクシミリまたはメールにてお申込みください。

今回の研修会では事前の申し込みが必要です。また、新型コロナウイルス感染症防止のため、研修会当日は体調の悪い方はご遠慮ください。

<参加・お問い合わせ>

ながの子どもを虐待から守る会事務局

TEL(携帯): 090-7283-5761

電話・ファクシミリ: 026-268-0009

Email: nagano-mamoru@shopping4.gmob.jp